

美と健康のために、公民館を有効活用

冬はインドアで、心もカラダもHOTになろう！

ダンスの

市民記者が、
取材しました！



あなたはダンスと聞いてどのようなものを連想しますか。
社交ダンス？ それともストリートで目にするヒップホップダンス？
映画や音楽が火付け役となり、実に多彩なジャンルが存在します。
今回の特集ではダンスにスポットライトを当て
市内でダンスを楽しむ人を紹介します。

わたしは公民館で
フラメンコ



カサブランカ
としこ
大場 智子さん(37歳)



▲自主グループ主催講座「フラメンコ体験」の様子
(9~10月の3回カサブランカが主催して実施)

自分らしさが発揮できる
「何か」を探している時、
フラメンコに出会いました

「日本の女性は、自分のことより家族に尽くす謙虚さを美德とする文化があります。でも、女性が自分自身の生き甲斐や幸せを大切にしていけば、周りにも波及していくと思うんです」と語るのはい児の母でもある大場さん。今の彼女にとってはフラメンコがそれ。5歳の息子さんは、家で彼女が夢中で踊っているのを見てとても喜び、マネをするときもあるのだとか。

きつとイキイキとしているお母さんの姿がとても魅力的で素敵だからでしょう。元々フラメンコはスペインの踊り。情熱的で個性が尊重されるダンスです。大場さんは、その歴史や背景も深く探求していて、自分の踊りに生かしているそうです。

フラメンコが持つ
しなやかさと強さに
魅せられて…

メンバーの中でも一段と華やかで明るい大場さん。ムードメーカとしての存在感も大きいです。そんな彼女がフラメンコを始めたのは結婚する前のこと。フラメンコの持つ、しなやかさと強さに衝撃



▲発表に向けて練習中の大場さん

を受けたのがきっかけでした。その後、出産や5年におよぶご主人の海外赴任同行などによるブランクを経て、友人からの誘いで1年前に「カサブランカ」に入会して再開しました。その間に募らせていたフラメンコへの思いが、今の彼女をますます躍動的にしているのかもしれない。

発表会の時などに派手な衣装やメイクで日常にない自分を演出するのも楽しみのひとつ。「踊っている時は鏡の中の自分と向き合い身体だけでなく、心が揺さぶられる不思議な魅力の虜になってしまいます」と語る大場さんの笑顔は本当に輝いていました。

カサブランカ
代表 / 寺川 紀世子さん
人数 / 12名
拠点 / 昭林公民館
活動 / 毎週金曜日
10:00~11:00

◀昭林公民館で行われるダンス発表に向けて練習をがんばっています

カサブランカ ダンス発表
12/6(日)
13:30~
13:40
昭林公民館
ホールフェスタ
に出演

